

R

e

C

vol.
701

The
Record

2018 april

4

r

T

h

e

i

a

o

j

d

| 音楽著作権啓発活動の広がり

| 平成30年度事業計画書



4

April

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 音楽著作権啓発活動の広がり

特報

7 平成30年度事業計画書

9 公正取引委員会へ再販制度
弾力運用報告書を提出

10 「知的財産推進計画2018」の
策定に関する意見書を提出

11 「第10回CDショップ大賞2018」
授賞式開催

12 私の一枚 season 2

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

2/21 Wednesday

ソニー・ミュージックスタジオに てレコーディングスタジオ体験 プログラムを開催

2月21日、当協会は東京都港区のソニー・ミュージックスタジオにて、レコーディングスタジオ体験学習プログラムを開催した。当日は、埼玉県開智中学・高等学校の3年生22名が参加した。

スタジオのコントロールルームに集まった生徒たちは、音楽が発売されるまでの全体の流れについて学んだ後、ソニー・ミュージックスタジオ宮田氏の紹介する楽曲を聴きながら、曲を構成する一音一音についてイメージを膨らませた。続くレコーディングブースの見学では、実際にプロのミュージシャンが使用する

ピアノ演奏に挑戦。また、生徒たちによるハンドクラップを実際に録音し、既存の楽曲にミックスするといった体験も行われた。その場で鳴らした音が、エンジニアの手によって変幻自在に操られ、楽曲に組み込まれる様子を目の当たりにした生徒たちは、驚きの表情で作業に見入っていた。

終了後のアンケートでは、「普段絶対に入れないような録音スタジオで、見たことのない機材に触れることができ感動した」「普段何気なく聴いている音楽は、とても手間をかけて届けられていることを知り驚いた」といった感想が寄せられた。



当協会組織変更(4月1日付)

使用料等の分配業務を行う専任部署を新設し、「分配・業務部」とする

<所管業務>

- ・各種使用料・報酬等の分配業務全般
- ・分配の精度および透明性の向上に向けた諸規程・システム等の見直し業務
- ・レコード二次使用料の集中管理に係る定型的な諸業務
- ・その他関連業務

上記に伴い、分配等に関する業務を著作権・契約部から、システム担当を管理部から分配・業務部に移管する

当協会事務局人事

■異動(4月1日付)

畑 陽一郎

理事・事務局長 兼 分配・業務部 部長
(前：理事・事務局長)

楠本 靖

著作権・契約部 部長
(前：著作権・契約部 部長 兼 著作権保護・促進センター センター長)

末永 昌樹

著作権保護・促進センター センター長
(前：著作権保護・促進センター 副センター長)

飛世 麻紀

分配・業務部 課長 (前：著作権・契約部 課長)

GfKジャパン「2017年ハイレゾ音源ダウンロード市場概況」を発表

3月1日、GfKジャパンは主要ハイレゾ音源配信サイトにおけるダウンロード実績集計に基づく「ハイレゾ音源ダウンロード市場レポート」より、2017年のハイレゾ音源ダウンロードの市場概況を発表した。

- ◆2017年のハイレゾ音源のダウンロードは数量前年比43%増、金額前年比同16%増
- ◆トラックのダウンロード数が前年の1.7倍と大きく拡大

ハイレゾ音源ダウンロードの広がり

2017年のハイレゾ音源のダウンロード市場は、数量前年比43%増、金額前年比16%増と拡大が続いた(図1)。市場のけん引役は引き続きアニメジャンルであったが、2017年はアイドル系やゲーム音楽などもリリースが増え好調に推移した。また、洋楽では12月に「The Beatles」のタイトルが初めてハイレゾ配信された。12月は例年市場が最も盛り上がる月であるが、2017年12月もこうした人気タイトルのリリースが相次ぎ、単月のダウンロード数、金額ともに規模は過去最高となった。

2017年の市場をフォーマット別にみると、トラック(単曲買い)が特に好調であった。ダウンロード数の前年比は、アルバム(まとめ買い)が5%増であったのに対し、トラック(単曲買い)は72%増を記録した。この結果、フォーマット別構成比ではトラックが数量ベースで68%、金額ベースで28%を占めた(図2)。

ハードをみると、2017年のハイレゾ対応ヘッドフォン販売は数量前年比36%増となった。1万円以下の値ごろ感がある製品が販売をけん引しており、同価格帯は数量構成比で前年の50%から59%へ拡大した。

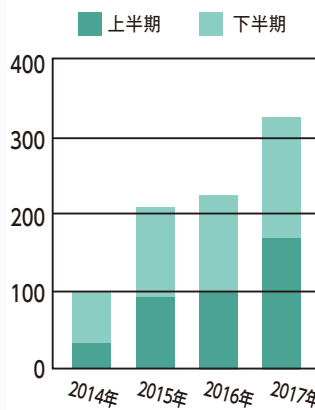


図1 ハイレゾ音源ダウンロード数推移 (指数値:2014年=100とする)

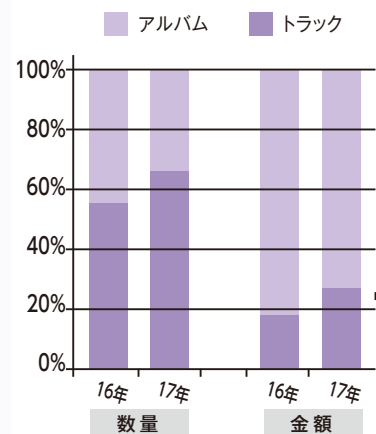


図2 ハイレゾ音源ダウンロードフォーマット別構成比

「ハイレゾ音源ダウンロード市場レポート」概要

- 提供頻度:月次
- 集計対象音楽配信サイト(2017年12月末時点): e-onkyo music、mora、mysound、レコチョク
- 調査内容:ハイレゾ音源ダウンロード数・金額(全体・トラック / アルバム[まとめ買い]別) 当協会協力のもと、GfKが集計、提供

会員社のお知らせ

■会員資格等変更(4月1日付)

準会員から正会員に変更

社名:株式会社バンダイナムコアーツ(旧社名:バンダイビジュアル株式会社)

代表:代表取締役副社長 井上 俊次 電話:03-6837-2600(代表)

■退会(3月31日付)

社名:株式会社ランティス(正会員)

Coming Next Artists情報



Coming Next Artists (音楽ナタリー内)
<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists>

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事、コラムが公開中です。

- #24 **BiS**(日本クラウン)
パーソナリティ / 須賀健太
- #25 **雨のパレード**(JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント)
パーソナリティ / 菅野結以
- #26 **足立佳奈**(ソニー・ミュージックレーベルズ)
パーソナリティ / Tom-H@ck

音楽著作権啓発活動の広がり

ICTの進化とともに著作権啓発活動も多様化が必須となり、当協会では2008年の「携帯音楽を守りたいキャンペーン」や2012年の「違法ダウンロードの罰則化」周知の大型キャンペーンのみならず、毎年、中学生・高校生をはじめとする若年層に向けて、音楽ができるまでの仕組みや「音楽創造のサイクル」の重要性を理解し、正しい知識のもとで音楽を楽しんでもらえるよう、様々な著作権啓発活動に取り組んでいる。内閣府の統計※1によれば、現在、10～17歳の

約半数がスマートフォンでインターネットを利用し、その普及は年々進んでいる。特に、利用内容では「動画視聴」「音楽視聴」が上位に挙げられており、新しい音楽に手軽に触れることができるようになった反面、若年層のインターネットリテラシー、マナー等の向上の啓発活動がより重要となってきている。

本特集では、当協会の事業内容とあわせ、当協会で作成する広報ツールを提供している企業、団体の教育・啓発事業を紹介する。

※1 内閣府「平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果」より <http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h28/net-jittai/pdf/sokuhou.pdf>

職場訪問・出張授業

中学生・高校生向け

日本レコード協会事業

職場訪問は、学生が事業所などの職場を訪問し、仕事を体験したり、働く人々と接することで、職業についての理解を深め、自身の将来を考えるキャリア教育の一環として実施されている。また、要望に応じて、学校へ訪問して授業を行う出張授業としても実施されている。当協会および会員社では、2016年度で248校、3,030名※2の対応を行った。

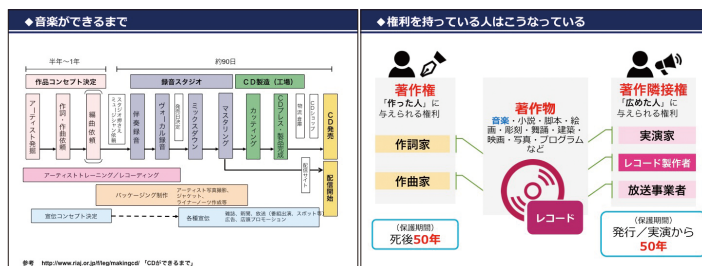


※2 次に紹介するレコーディングスタジオの見学者数を含む

▶レコード協会職場訪問のご案内 <http://www.riaj.or.jp/f/education/officeVisit.html>

レコード協会職場訪問の流れ(約90分)

- ▶音楽ができるまで
(アーティスト発掘～CD発売 / 配信開始に至るまでを順を追って紹介)
- ▶レコード会社の仕事
(音楽ビジネスに関わる職業、インタビュー映像を交えてレコード会社の仕事を紹介)
- ▶レコード協会について
(各部署の仕事、イベントなどを紹介)
- ▶音楽の著作権について
(1枚のCDにかかわる権利、音楽創造のサイクルについて説明)



レコーディングスタジオ体験学習

中学生・高校生向け

日本レコード協会事業

都内のレコーディングスタジオにご協力をいただき、普段は入ることのできないプロユースのスタジオでの体験学習を実施している。アーティストに関わるスタッフを講師に、実際に音楽が制作される現場で工程を学ぶほか、上質な環境で音楽を楽しむことで、音楽創造のサイクルの重要性を理解できるプログラムとなっている。

スタジオ体験学習の流れ(約90分)

- ▶音楽ができるまで
(アーティスト発掘～CD発売/配信開始に至るまでを順を追って紹介)
- ▶スタジオ見学
(スタジオの歴史、コントロールルーム・各ブースの役割や機材紹介、エンジニアのこだわり・仕事に対する想いを説明)
- ▶音楽鑑賞
(学生が持参したCDを、スタジオの環境で楽しむ)



キング関口台スタジオ



ビクタースタジオ



ソニー・ミュージックスタジオ

▶スタジオ体験プログラムのご案内 <http://www.riaj.or.jp/f/education/studio.html>

寄附講座・講師派遣

大学生向け

日本レコード協会事業

次代を担う学生のクリエイティブビジネスに対する関心を高め、知的財産・著作権制度の重要性を理解してもらうために、創立50周年事業の一環として大学寄附講座を開講。1992年より7つの大学で実施してきた。2017年からは国立大学法人電気通信大学にて「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」と題し、レコード業界だけではなく、放送、映画、ゲームなど各界の第一線で活躍するゲスト講師による講義が行われている。

また、団体・教育機関などの要望に応じて、著作権教育に関する各種講座や勉強会への講師派遣も随時行っている(2017年度実績は下表参照)。



電気通信大学での講義の様子

	テーマ	対象	講師
10月	山口大学「コンテンツ産業と知的財産」 「レコード産業と知的財産 -現状と課題」	山口大学 国際総合科学部	畑理事・ 事務局長
11月	大阪大学「高度情報通信化社会における知的財産戦略論」 「デジタルネットワーク化に伴う著作権制度の役割について」	大阪大学法学部 学部生、 法学研究科院生	楠本著作権・ 契約部部長

おしごとほくぶつかん

小学生向け

日本レコード協会事業

当協会は、株式会社朝日新聞社のキャリア教育支援事業「おしごとほくぶつかん」によるキャリア教育用副教材「おしごと年鑑2017」に協賛している。

同書籍は、キャリア教育を支援したい「企業・団体」と、キャリア教育授業を行いたい「学校」をつなぐ、お仕事紹介コンテンツとして展開されている。学習指導要領に対応し、「社会科」や「総合的学習」などの実際の授業での使用を想定しており、全国の小中学校などへ約4万6千部が寄贈された。

<内容>

当協会が担当するページでは、「著作権ってなあに?」をテーマに、音楽ができるまでの流れと音楽業界のお仕事紹介、音楽を楽しむために知ってほしい著作権について掲載した。ほかにも、約100の企業・団体が、事業内容や企業博物館・工場などを紹介している。

なお、同冊子の誌面内容は以下URLより閲覧可能。

▶おしごとほくぶつかんキッズ
<https://www.oshihaku.jp/kids/>



著作権啓発広報ツール

日本レコード協会事業

当協会では、「ルールを守って、正しく音楽を楽しむ」ことを、より多くの音楽リスナーに周知するため、音楽創造のサイクル(ハッピーミュージックサイクル)や、著作権法などの概要をわかりやすくまとめた広報ツールを作成し、会員社の職場訪問などで使用いただいているほか、団体・企業への提供も行っている。

■著作権啓発映像「未来の音楽のために」

中高生を対象に、「著作権解説編」「レコード会社業務紹介編」の2つのパートで構成される映像「未来の音楽のために」を作成。職場訪問などで使用するほか、「中学生の音楽鑑賞」(教育芸術社教科書準拠)に収録されている。

■守ろう大切な音楽を(パンフレット)

「音楽創造のサイクル(ハッピーミュージックサイクル)」 「著作権法で違法とされる主な行為」 「エルマーク」 「音楽ルールQ&A」をまとめた資料。
<http://www.riaj.or.jp/f/leg/lovemusic/>



■知っておきたいエルマーク

音楽コンテンツの正規配信サイトに表示する「エルマーク」を解説するチラシ。エルマークのキャラクター「エルマークくん」も登場する。
<http://www.riaj.or.jp/leg/lmark/>

■ノベルティ(エルマークくん柄絆創膏)



次ページ以降では、広報ツールを提供している団体・企業の取り組みを紹介する。

文化庁「著作権セミナー」「都道府県著作権事務担当者講習会」

文化庁長官官房著作権課では、著作権に関する教育事業として、行政職員や教職員を中心に、以下のセミナー／講習会を開催している。当協会からは、「著作権セミナー」「都道府県著作権事務担当者講習会」において、パンフレット「守ろう大切な音楽を」（前ページ参照）を約2,200部（2017年度実績）提供し、著作権関係団体資料として配布いただいた。

以下の講習会では、音楽のみならず様々な分野における著作権制度の概要説明に加え、具体例を挙げながら解説するQ&Aや、実践事例の発表を交えるなど、対象者に合わせたプログラムが組まれている（右参照）。全体的な傾向として、近年は、インターネット上に

おける著作物の利用や、デジタル機器などによる新しい著作物の利用方法と著作権法の関わりについての関心が高くなってきており、講義の内容にも反映されている。今後は、出来るだけ多くの参加希望者を受け入れる体制作りや、「インターネット上での著作物の利用と著作権法との関わりが知りたい」といった受講ニーズへの対応や、従来講習会に参加していない層への周知に取り組むとのこと。

なお、文化庁では学習教材や検索データベースなど各種資料をWeb上で公開しており、著作権制度の理解促進に努めている。



都道府県著作権事務担当者講習会の様子

「都道府県著作権事務担当者講習会」の内容

- ・著作権法概論（沿革・概要、各支分権の説明、著作物の利用方法、権利制限規定、著作権等の侵害行為など）
- ・著作権 Q&A、広報活動の留意点など

「著作権Q&A（例）」（違法ダウンロードの刑事罰化）

Q1.「YouTube」などの動画投稿サイトの閲覧についても、その際にキャッシュが作成されるため、違法になるのですか？

A1.違法ではなく、刑罰の対象とはなりません。

動画投稿サイトにおいては、データをダウンロードしながら再生するという仕組みのものが多く、この場合、動画の閲覧に際して、複製（録音又は録画）が伴うこととなります。しかしながら、このような複製（キャッシュ）に関しては、第47条の8（電子計算機における著作物利用に伴う複製）の規定が適用されることにより、著作権侵害には該当せず、「著作権又は著作権隣接権を侵害した」という要件を満たしません。

	開始年	対象者
著作権セミナー	1952年※1	行政職員、教職員、美術館・博物館職員、会社員など（全国13箇所、約1,200人／年）
都道府県著作権事務担当者講習会	1975年	都道府県及び政令指定都市の職員（年1回、約100人）
教職員著作権講習会	1998年	教職員（年2回程度、約400人）
図書館等職員著作権実務講習会	1971年※2	図書館、美術館、博物館等職員（年2回程度、約600人）

※1…前身である「著作権講習会」の開始年

※2…著作権法改正に合わせ開始

▶文化庁 著作権に関する教材、資料等URL

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/kyozai.html>

▶著作権なるほど質問箱

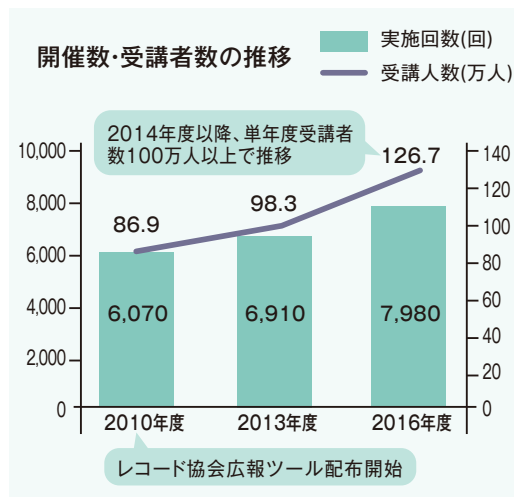
<http://www.bunka.go.jp/chosakuken/naruhodo/>

株式会社NTTドコモ「スマホ・ケータイ安全教室」

NTTドコモは、スマートフォン・携帯電話の正しい使い方を教え、危険やトラブルを未然に防ぐための対応方法を啓発する「スマホ・ケータイ安全教室」を全国で無料で実施している。2004年7月より「ケータイ安全教室」の名称で開講しており、スマートフォン市場の急速な拡大や子供たちの所有の増加など、利用環境の変化による情報リテラシー・モラルへの関心の高まりを受け、年間の実施回数は当初より大幅に増加している。2016年度は、約7,980回、約126.7万人が受講、開始

から13年間で延べ約70,900回、約1,068万人（2018年2月末現在）が受講してきた。当協会からは、「知っておきたいエルマーク」チラシ（前ページ参照）約100万部の提供を行っており（2017年度実績）、主に小学校高学年を対象とした「入門編」と中学生が受講する「応用編」において配布いただいている。

教材は、子供たちが抱える問題点や受講者からの要望やトレンドなどを反映し、毎年改訂を行っており、講師約190名で実施している。



入門編	小学校高学年を対象に、自分にも起こり得る身近なトラブル・ルール・マナー等を説明
応用編	中学生を対象に、スマホ中心とした、トラブルを未然に防ぐための知識や心がまえについて説明
保護者・教員編	保護者や教員の方々を対象に、子どもたちを守る術・注意点等を説明
特別支援学校編	入門編・応用編をベースにした特別支援学校向けの安全教室
シニア編	シニアの方を対象に、振り込め詐欺などの犯罪やトラブルにあわないための注意点について説明

「応用編」（約50分）の主な内容

- SNSで気をつけたいこと
～軽はずみな投稿～
- コミュニケーションアプリで気をつけたいこと
- スマホ・ケータイでのお金と時間の使い方
- 予期せぬ情報流出に気をつけよう
- フィルタリングを活用して危険から身を守ろう
- スマホやケータイをスマートに使うルールやマナー

音楽や映像をダウンロードするときは「エルマーク」の表示を参考にしましょう。

著作権を侵害した配信と知りながら音楽や映像をダウンロードすることは個人的に楽しむためであっても違法（権利侵害）となる

権利者の許可をとって音楽などを配信しているサイトの多くには「エルマーク」が表示されています。



「スマホ・ケータイ安全教室」の様子

▶「スマホ・ケータイ安全教室」 <https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/educational/>

不正商品対策協議会

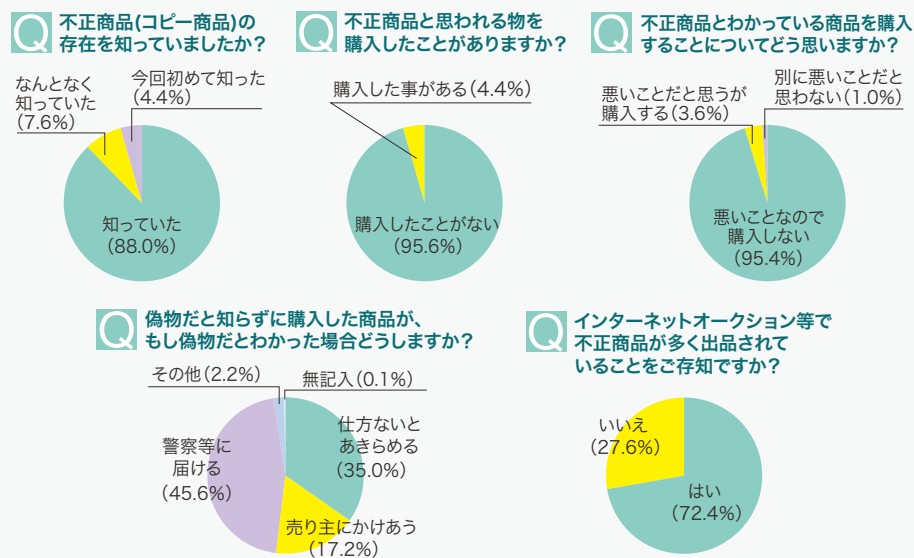
当協会も加盟する不正商品対策協議会(The Anti-Counterfeiting Association、以下ACA)では、偽ブランド品や海賊版等、「著作権」「商標権」「意匠権」などの知的財産権を侵害する「不正商品」を排除・撲滅するための活動を行っている。

ACA設立の経緯・目的

1986年、知的財産の保護と不正商品の排除を目的に著作権・商標権に関する権利者団体で組織され、警察庁の支援のもと設立された団体。設立以来、広報啓発活動を中心に、「ほんと?ホント!フェア」「著作権を守ろう!ポスターコンクール」「アジア知的財産権シンポジウム」といった各種イベントを開催し、知的財産の保護と不正商品の排除に努めている。

知的財産権の大切さ、理解されていますか?

2015年11月ほんと?ホント!フェアin千葉アンケート調査(500サンプル)より



「ほんと?ホント!フェア」とは?

1987年より、一般消費者に向けて、全国の政令指定都市を中心にこれまで36回開催されており、2017年度は6箇所で開催した。当協会では、著作権教育啓発用パンフレットの配布や、「ホンモノ・ニセモノ比較展示」コーナーにおいての音楽CD・DVDの真正品・模倣品の提供を行っており、ブランド品、ゲームソフト等とともに展示されている。

直近では、2月17日、熊本県上益城郡のイオンモール熊本にて、「ほんと?ホント!フェアin熊本~守ろう情報セキュリティと知的財産~」を開催。当日は、ブランド品、CD・DVD、ゲームソフト等の「ホンモノ・ニセモノ比較展示」が行われたほか、くまモンをゲストに迎えた「ホンモノ・ニセモノ〇×クイズ大会」、ゴスペルグループ「THE SOULMATIC」によるスペシャルLIVE、ペーパークイズ、スタンプラリーなどが行われた。会場には、家族連れなど約1,200人が訪れ、盛況のうちに終了した。

主催:不正商品対策協議会(ACA) 後援:警察庁/特許庁
協力:熊本県警察/国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)、イオンモール熊本



「ほんと?ホント!フェアin熊本」での展示の様子

来場者の様子や今後の展開について、ACA事務局の高木氏に以下のコメントをいただいた。

■来場者から「ホンモノ・ニセモノ展示」に寄せられた感想を教えてください。

展示に対して、家族連れなどからは、「並べてあったので判ったが、偽物だけ見ても判らない」「海外で売られている海賊版が精巧なのでびっくりした」「新作が極端に安いということはないと知った」などの感想が寄せられました。

■今後の展開、課題についてお聞かせください。

デジタルネットワークの進展と高機能携帯端末の世界的普及に伴い、知的財産の侵害は国境を越えて瞬時に世界中へ拡散し、個人犯罪として蔓延しつつある。特に著作権侵害の場合は無償で行われることが多く、若者層が軽い気持ちで権利を侵害するケースが後を絶たない。不正商品対策協議会では警察庁と連携し、「ほんと?ホント!フェア」の開催等を通じて消費者の知的財産保護に対する認識づくりへ貢献していきたい。

不正商品対策協議会(ACA) 設立:1986年8月

会員: <正会員>

一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)
一般社団法人 日本映画製作者連盟(MPAJ)
一般社団法人 日本映像ソフト協会(JVA)
一般社団法人 日本音楽著作権協会(JASRAC)
株式会社 日本国際映画著作権協会(JIMCA)
一般社団法人 日本レコード協会(RIAJ)
BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス(BSA)

<協賛会員>

一般社団法人ユニオン・デ・ファブリカン(UDF)
一般社団法人 日本商品化権協会(JAMRA)
ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社
シャネル 株式会社
エルメスジャパン 株式会社
日本弁理士会(JPAA)
日本行政書士会連合会
一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)

URL: <http://www.aca.gr.jp/>

平成30年度事業計画書

平成29年の市況を振り返ると、オーディオレコードの年間生産金額は前年比98%の1,739億円と健闘し、とりわけアナログレコードの生産数量が16年ぶりに100万枚を超える等の実績を残したものの、音楽ビデオの減少により音楽パッケージソフト全体（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額は前年比94%の2,320億円に留まった。一方、音楽配信の売上金額はアルバムダウンロードとストリーミングサービスが大きく伸長し、配信市場全体では前年比108%の573億円と4年連続で増加した。この結果、音楽ソフト（オーディオレコード+音楽ビデオ）の生産金額と音楽配信売上の合計は前年比97%の2,893億円と前年を下回り、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

当協会では、平成29年度より担う役割を3つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業からのメッセージを「伝える」）に整理し、優先度を付けて事業に取り組んでおり、平成30年度もこの方針を継続する。

平成30年度の具体的な事業は以下の通りである。

〔事業活動〕

〔1〕レコード等の普及に関すること

1. 「音楽CDの再販制度」の維持と弾力運用の推進

- (1) 音楽文化発展の基盤となる「音楽CDの再販制度」の存置を引き続き求めるとともに、制度の弾力運用を推進する。
- (2) ユーザーサービスのためインターネット廃盤セールを継続開催する。

2. 新人アピールを主軸とした業界広報の強化

新人アーティスト育成の施策として、平成29年度から開始した音楽ナタリーとの連携ウェブ施策「Coming Next Artists」について、更なる認知向上に向けて様々な改善を施しつつ継続するとともに、業界からのメッセージ発信基盤として活用する。

3. 需要喚起事業の展開

- (1) 11月3日「レコードの日」を中心とする期間に既存の音楽関連イベントを「渋谷」に集約させて「MUSIC WEEK」と題するイベントを開催する。このイベントを通じて、音楽の良さや楽しさを再発信して音楽リスナーの増加を図るとともに、アーティストプロモーションの機会創出など、実ビジネスにも結びつくイベントに育てていく。
- (2) Music Jacket Promotion Committee (MJPC) が主催する「ミュージックジャケットギャラリー」について、パッケージ商品の魅力を訴求する等の趣旨を踏まえ、必要に応じて協賛を継続する。

4. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

アーティスト・作品の顕彰と日本音楽の歴史の記録として「日本ゴールドディスク大賞」を継続して実施する。

5. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援する施策は、平成29年度から一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) に一本化して実施しており、平成30年度もPROMICへの支援・委託を継続する。PROMICの主な海外展開事業は次の通り。

- ① 「第15回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」の開催
- ② アニソン情報検索サイト「JAPAN ANIME MUSIC LAB.」の運営
- ③ 海外の日本音楽ファンやバイヤー等への情報発信の強化
- ④ その他、海外展開関連事業

6. RIAJセミナーの開催

会員各社へのタイムリーな情報提供を目的としたセミナーを定期的で開催するとともに、一部テーマについては広く一般に公開するセミナーも検討する。

7. その他

- (1) 「Music J-CIS (Music Japan-Copyright Information Service) 協議会」(MINC) の構成団体として、音楽権利情報データベースの充実を図る。
- (2) 平成29年度文化庁「コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業」の一環として構築・公開した「音楽権利情報検索ナビ」について

て、平成30年度も事業が継続となる場合には、事業主体となる権利情報集約化等協議会の構成団体として、著作物の適法かつ円滑な利用の促進に引き続き取り組む。

〔2〕レコード等に関する調査研究およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品および音楽配信に関する各種産業統計データの的確な集計を行い迅速に公表する。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「音楽メディアユーザー実態調査」を継続実施し、経年変化を把握する。また、世界最大のパッケージ市場である日本市場の維持・再活性化、デジタル市場の一層の拡大を図るため、ユーザー意識を深掘り調査する。

〔3〕レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

1. 「文化庁芸術祭」への協力

レコード部門における受付窓口として、選考申請および審査に協力する。

2. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

録音エンジニアの技術向上と地位確立を目的として継続実施する。

〔4〕著作権および著作隣接権等の普及・啓発に関すること

1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法配信対策の専任組織「著作権保護・促進センター (CPPC)」において違法音楽ファイルの削除要請を継続して実施する。
- (2) 国外サイトに関しては、国際レコード産業連盟 (IFPI) との連携により削除要請の対象を拡大するとともに、中国サイトについては、中国国家著作権局との連携やサイト運営事業者への直接訪問による協力関係の構築等により対策を強化する。
- (3) 違法な音楽利用を助長するスマートフォン向け有害アプリに関して、アプリ提供者等に対する注意喚起・警告活動や、アプリ削除要請、違法ファイルへのリンク削除要請、ファイル削除要請等のほか、ストレージサービス事業者に対する注意喚起、警告を継続実施する。
- (4) 悪質な違法行為者の告訴等を継続して実施する。
- (5) ファイル共有ソフトを悪用した違法行為者のうち特に悪質性の高い者に関して、損害賠償請求や告訴等の対応を継続する。

2. 啓発キャンペーン等の周知活動

音楽創造サイクルへの理解を促進させる著作権啓発活動や違法配信問題を訴求する活動を実施する。

3. 著作権教育活動の実施

- (1) 大学寄附講座は、平成29年度から開講した国立大学法人電気通信

大学で継続開講し、若年層のレコード産業・著作権制度に対する理解促進に努める。

- (2) 音楽が制作される過程を学び、上質な環境で音楽を楽しむ機会を提供するレコーディングスタジオ見学プログラムを実施するとともに、修学旅行生等の職場訪問受入れなど若年層への著作権教育の機会を増大するための取組みを継続する。
- (3) その他、著作権教育の促進に資する活動を実施する。

4. クリエイターへの適切な対価還元制度の整備を求める活動

文化庁著作権分科会における検討に参画し、私的録音補償金制度の見直しによる権利者への対価還元制度について、他の権利者団体とともに再構築を図る。

5. レコードの業務上の演奏利用から適正な対価が還元される法制度創設に向けた活動

国際レコード産業連盟(IFPI)や実演家団体と連携して法制度創設に向けた関係省庁への働きかけを継続して実施する。

6. 動画投稿サイトに係る法的ルールの見直しに向けた活動

大量の投稿動画を保存・公開する動画投稿サイトの運営事業者に係る法的責任の在り方について、EUの立法動向を注視しながら、プロバイダ責任制限法の見直しに向けた働きかけを継続する。

7. 放送の同時送信に関する集中管理事業の推進

放送の同時送信に関する著作権課題を検討する総務省の委員会等に継続参加するとともに、レコード製作者の送信可能化権について放送局に対し包括的なライセンスを行い同時送信が円滑にできるよう適切に対応する。

[5] レコード等に関するデータの公表

レコード産業への理解促進と産業全体のイメージ向上を図るため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広報する。

[6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

二次使用料を安定的に確保するために、放送・有線放送事業者との間で協議を実施し、使用料水準の維持確保に努める。

[7] レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

1. 放送番組のネット配信にかかる集中管理の取組

新規サービスに対応して管理対象範囲の拡大を検討するほか、配信ビジネスの実態を踏まえ必要に応じて使用料規程の見直しを行う。

2. 教育・文化・プライダル分野等のレコード利用集中管理事業の推進

- (1) 教育・文化系催事に係る一任型集中管理事業の安定化に取り組む。
- (2) プライダル分野におけるレコード利用について、平成29年度から開始した一任型集中管理の円滑な運用に努める。また、適法利用に向けた利用者への啓発活動を推進するとともに、許諾を得ずにレコードを利用する事業者への対策を強化する。
- (3) 集中管理の対象とする分野の拡大に向けて、関連団体・事業者との協議を開始する。

[8] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取決めならびに徴収および分配

貸レコード使用料等の円滑な徴収および分配に努める。

[9] 私的録音補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

私的録音補償金管理協会(sarah)の構成団体として、私的録音補償金制度の円滑な運用を支援する。

[10] その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見を表明する。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体並びに国際レコード産業連盟(IFPI)およびアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を積極的に推進する。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

レコード制作者としての社会的倫理責任を果たすため、「レコード制作基準」に則り「レコード倫理審査会」を開催・運営する。

4. 業界規格(RIS)の制定と改正

CD等レコード商品の表示、付属品等に関する日本レコード協会規格(RIS)について必要な制定・改正を行う。

5. 「ISRC」(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

音源の識別に利用される「ISRC」(国際標準レコーディングコード)の国内登録管理機関として、普及・管理に関する活動やコードの申請受付・交付等を行う。

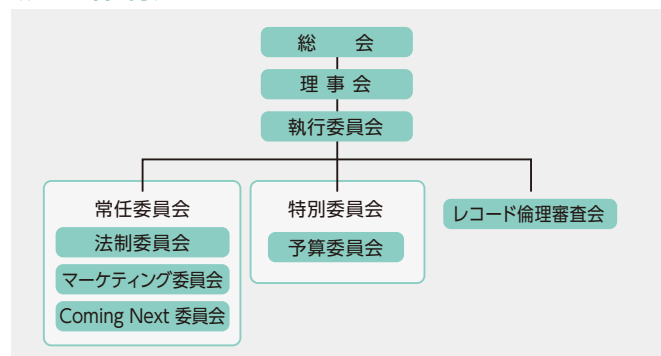
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

福祉厚生・療養施設(児童福祉施設、老人ホーム等)の方々に音楽を楽しんで頂くことを目的として昭和38年(1963年)から毎年実施しているレコード(CD)寄贈事業を今年度も継続する。

7. 会員各社の業務の集約化(シェアードサービス)

会員各社の業務の効率化と負担軽減を図るため、集約化が考えられる業務に関する会員社ニーズを引き続き把握しながら必要な施策を推進する。

〔運営体制〕



本年度も、関係官庁並びに関係団体の協力を得て業務を推進する。

公正取引委員会へ再販制度弾力運用報告書を提出

3月12日、当協会は2017年12月31日時点のレコードメーカーによる「音楽CD等の再販制度の弾力運用の状況について」を報告書として取りまとめ、公正取引委員会に提出した。ここでは同報告書より抜粋した内容を掲載する。なお、当協会ホームページにて報告書全文を公開している。(http://www.riaj.or.jp/f/leg/saihan/)

音楽用CD等の再販制度に関する弾力な運用と流通改善について

1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

(1) 時限再販期間の短縮について

レコードメーカー各社は、1998年以降時限再販期間の更なる短縮に取り組み、現在再販期間は1年または6ヶ月となっている。

(2) 時限再販期間経過後商品の値引き販売について

主要レコード店をはじめ全国レコード販売店において、値引き販売が実施されている。レコードメーカーは、営業施策の一環として販売店と協力し、年間を通じた時限再販期間経過後商品の店頭値引き販売を適宜積極的に展開している。

(3) 非再販商品の発売と値引き販売について

2017年の全CD新譜数は13,384タイトル(2016年14,787タイトル)であったが、このうち、CD+DVD商品は1,860タイトル(2016年1,943タイトル)、非再販CDのタイトル数は1,958タイトル(2016年1,820タイトル)となり、CD+DVD商品および非再販CDの合計で3,818タイトル(2016年3,763タイトル)と例年4,000タイトル近い商品が非再販商品として発売されている。

なお、CD+DVD商品はヒット作品でも数多く発売されており、2017年に発売され正味出荷枚数が100万枚を超えた「ミリオン認定作品」はシングルで7タイトル、アルバムで1タイトルの計8タイトル(2016年:シングル5タイトル、アルバム1タイトル、計6タイトル)で、その8タイトルすべてがCD+DVD商品の形態で発売されている。

(4) インターネット廃盤セールの実施

1992年度から毎年実施しており、好評を得ている。
 名称:レコードファン感謝祭～廃盤CDディスカウントセール～
 日程:2018年1月11日(木)～1月22日(月)
 出品商品:種類約1,800タイトル、総数約30,000枚
 廃盤商品は発売時定価の70%引き、時限再販期間経過後商品は発売時定価の25%引きで販売。

(5) 価格表示方法の変更について

商品が非再販となっているか否かを認知しやすい方法に変更している。

2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

2017年のアルバムの年間平均小売価格は2,028円となり、2016年の2,041円より13円下落した。なお、2001年当面存置決定当時の2,399円対比では約15%値下がっている。

3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

従来からレコードメーカー各社が再販制度の利用を自らの判断で決定しており、今後も同様に継続される。

4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカードは消費者サービスの一環として定着している。

5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化

メーカー各社は、従前から消費者の購入利便性の向上のため、通販・直販等流通ルートの多様化に取り組むと同時に、多様な価格設定を行っている。

6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害はない。

7. その他

レコードメーカー各社、販売店、有料音楽配信サイトでは、CD音源の無料試聴サービスを実施している。また販売店においても、デジタル試聴機が導入されており、2017年12月末時点で467店に1,238端末が設置され、バーコード検索により375万曲の試聴が可能となっている。

レコード業界は、音楽用CD等の再販制度について国民から引き続き理解が得られるよう、今後も消費者利益の向上を目指し、音楽用CD等の企画の多様性の確保、流通の合理化などの改善に積極的に取り組んでいく。

以上

「知的財産推進計画2018」の策定に関する 意見書を提出

1月18日から2月16日にかけて、知的財産戦略本部により実施された「知的財産推進計画2018」の策定に関する意見募集に対し、当協会の意見書を提出したので、以下にその内容を紹介する。

1.クリエイターへの適切な対価還元制度の整備

ユーザーは、多種のデジタル複製手段により高品質の録音録画物を容易に作成し、その録音録画物により自分の好きな時に自分の好きな場所で著作物を享受できる環境にある。一方、クリエイターである権利者は、著作物が利用されているにもかかわらず現行の私的録音録画補償金制度の空洞化により、長期に亘って適切な対価還元を受けられておらず、制度見直しは一刻の猶予も許されない。我が国では私的使用目的の複製について広範な権利制限が認められている中、政府は、私的録音録画の実態に応じて柔軟にクリエイターへの対価還元策を講じることができると実効的な制度づくりを早急に進めるべきである。

2.「レコード演奏・伝達権」の創設

レストラン、クラブ、店舗等でCDを再生したり、音楽ラジオ放送を受信して伝達する等の方法により来店者等に音楽を聞かせるなど、公衆に聴かせるための演奏・伝達行為について、著作権者は演奏権及び公の伝達権を有しているが、レコード製作者にはこれらに相当する権利（「レコード演奏・伝達権」）が存在せず、レコードの演奏・伝達によって生み出される経済的利益に与ることができていない。

「レコード演奏・伝達権」に相当する権利は、著作隣接権関連条約で認められている権利として既に世界145カ国（OECD加盟35カ国中33カ国）において導入されている中、我が国も、新たなレコード製作の経済的基盤を確保するための権利として導入すべきである。

3.動画投稿サイトに係る法的ルールの見直し

動画投稿サイトにおけるUGC（ユーザー生成コンテンツ）の公開について、動画投稿サイト運営事業者は、プロバイダ責任制限法の枠組みに基づき、権利者から侵害通知を受けた後に削除等の送信防止措置を講ずれば原則的に損害賠償責任を負わないものとされている。しかし、電気通信設備・役務の単なる提供を超え、権利侵害コンテンツを含む大量のUGC公開をビジネスモデルの中核としている動画投稿サイトはプロバイダ責任制限法の制定時には想定されておらず、権利者側に侵害通知の負担を求める従来の法的枠組み

を今後も維持することの当否を検証する必要がある。

EUでは、2016年9月に新指令案（デジタル単一市場における著作権指令案）が公表され、大量のUGCを保存・公開する動画投稿サイト運営事業者について、権利者と締結した契約の実効性を確保し、又は権利者が特定した権利物の無許諾配信を防止するための手段を講じる義務などが規定されている。

我が国においても、EU等の動向も踏まえながら、動画投稿サイトに係る法的ルールの在り方について、プロバイダ責任制限法の見直しの検討を行うべきである。

4.ウェブサイトへのアクセス遮断措置 （サイトブロッキング）の導入

膨大な数にのぼるインターネット上の著作権等侵害は、権利者が発見し削除要請等の対応を実施しても、蔵置場所を変えて日々絶え間なく発生し続けている。そのため、もはや権利者による事後的な対応だけでは侵害量の顕著な減少は期待できない状況となっている。

政府は、既に実施している諸外国における違法利用の減少効果等を適切に見極めながら、違法の蓋然性が極めて高いウェブサイトへのアクセス遮断措置（いわゆるサイトブロッキング）の導入を積極的に検討すべきである。

5.放送番組のインターネット同時送信に関する 方策検討の在り方

放送番組のインターネット送信について、当協会は、平成18年にレコード送信可能化権の集中管理を開始し、その枠組みの下でNHK・民放等の放送番組配信は安定的に実施されている。

当協会は、従来より放送事業者のビジネスモデルに応じて包括許諾の契約条件を柔軟に調整し、レコードの利用円滑化を図ってきた。放送番組のインターネット同時送信に関しても、許諾権の切下げは不要であり、集中管理を促進して包括許諾契約の活用を進めていくことが権利者・利用者双方の利益に合うものとする。

「第10回CDショップ大賞2018」授賞式開催

全日本CDショップ店員組合は、3月8日、東京都港区のSELENE b2にて、第10回CDショップ大賞2018授賞式を開催した。

第10回目となる今回の授賞式では、大賞に米津玄師「BOOTLEG」、準大賞にPUNPEEの「MODERN TIMES」と台風クラブの「初期の台風クラブ」が表彰され、さらに部門賞、入賞作品、地方賞の発表が行われた。

授賞式では、準大賞を受賞したPUNPEE、台風クラブの石塚淳（ギター/ヴォーカル）が会場に駆け付け、CDショップ店員より準大賞の盾を受け取り、受賞の喜びを語った。大賞を受賞した米津玄師からはビデオコメントが寄せられ、「作ったものが店頭に並んで人々の手に取ってもらえて、いろんな方に届いていくのは本当に光栄なことだと思います。これからも自分のペースで楽しいことがやっていけたらと思います。」と受賞の喜びを明かした。

さらに、大西順子（ジャズ賞）、葵かを里（演歌賞）、SUNNY CAR WASH（関東ブロック賞）、FAITHからドリチューラーあかり、ヤジマレイ、荒井藤子（甲信越ブロック賞）、YOCO ORGAN（北陸ブロック賞）、ピッケブランカ（東海ブロック賞）、sympathyから柴田ゆう（四国ブロック賞）、Anly（沖縄ブロック賞）も会場に駆け付け、受賞楯を手に笑顔を見せ、感謝の意を述べた。



受賞楯を手に喜びの笑顔を見せる台風クラブの石塚淳とPUNPEE



ジャズ賞、演歌賞、地方賞を受賞したアーティストも会場に駆け付けた



大賞 ▶ 米津玄師「BOOTLEG」SRCL-9571

CDショップ店員のコメント(抜粋)

▶まさに新しい音楽体験から創作活動をする新しい世代のクリエイターが誕生したと思う。自己表現をするための貪欲さが今の世代の世界観と合致した瞬間にブレイクポイントが存在すると感じる。

▶楽曲の良さは勿論!毎回素敵なパッケージやジャケットでファンを楽しませてくれる米津さんの作品はもはやCDではなく、1つのアートだと感じさせてくれるそんな1枚。



準大賞 ▶ 台風クラブ「初期の台風クラブ」LNCM-1211

CDショップ店員のコメント(抜粋)

▶個人的に60~70年代の音が好きなのだが、最近リリースされるものでそういった趣のものにはあるものの、本当に良いものは少ない。そんな中で彼らは、本当にしっかり60~70年代マナーを体内に消化して、それでいて自分たちのオリジナリティを醸し出す稀なバンド。久しぶりに部屋でゆっくり聴ける邦楽に出会った感じでした。

▶日本語ロックが好きでよかった。キャッチコピーの「日本語ロックの西日」とはよく付けたなあ后感心。眩しくて、ロマンチックで、黄昏。



準大賞 ▶ PUNPEE「MODERN TIMES」SMMT99/XQMV1009

CDショップ店員のコメント(抜粋)

▶これをずっと待ってた…!!聴いてるだけで楽しくなる、HIP HOPというジャンル関係なくリスナーに届いた待望の1st!改めてCDの面白さを伝えてくれた作品! CDショップに勤めてて良かったと思わせてくれました。

▶アイデア、クオリティ、遊び心、どれをとっても天晴れ!としか言いようがない傑作。随所に散りばめられた、というよりも溢れ出てしまったオマージュは深いHIP HOP愛、映画愛が垣間見えます。時にニヤリ、時にほっこりさせられながら最後には勇気づけてくれる。ダメダメだけだったといい!僕らはこんなheroを待っていた!

私わたし の season2 一枚いちまい



中谷 幸夫

一般社団法人 日本レコード協会 理事
(株式会社テイチクエンタテインメント 代表取締役会長兼社長)



「酒と泪と男と女／てんびんばかり」 河島英五

私は1960年(昭和35年)福井で生まれました。父が音楽好きだったこともあり、小学校低学年の頃に卓上型のレコードプレーヤーを買ってもらい、学校から帰るとテレビヒーローもののテーマ曲を毎日のように聞いていた思い出があります。

その後中学生となり興味の対象がアイドルや歌謡曲に移り始め、FM・エアチェックで録りだめしたカセットテープをコンポで聞くのがメインとなりました。レコードを買うようになったのは高校に入学した頃。当時福井駅近くに一軒だけあったレコードショップに小遣いを貯め通い、様々なレコードを眺めながら少しずつ枚数を増やしていくのが楽しみでした。

ある日、いつものようにショップに行くと、河島英五さんのミニライブを観られるという内容のフライヤーが貼られているのを見つけました。同級生と一緒に申込み、運よく参加。福井ではなかなかライブに行けるチャンスが少なかったため、プロのライブを体験することは生まれて初めてであり「夢のまた夢」といった感じで高揚したのを覚えています。

そして当日。

ライブ会場と言ってもレコードショップが入っていたビルの大会議室のようなところだったように記憶していますが、河島英五さんはギター一本で来られ、マイクの前に座られるなり演奏開始。弾き語りで歌い始めたのは前年に出した「酒と泪と男と女」でした。

高校生にはちょっと早い歌詞の内容でしたが その歌声とギターの音の迫力に圧倒され一気に大ファンになりました。

短い時間でしたが衝撃的な体験でしたね。

それまで音楽は雑誌やFMから流れてくる楽曲を聴きアーティストのイメージを想像しながら楽しんでいましたが、ライブを体験してから聴くレコードは、目を閉じるとそこに河島英五さんが実際に居て歌ってくれているような錯覚を覚える程で、リアリティを感じるものでした。

その時に興奮冷めやらぬ感じで買ったレコードが、今回私の一枚としてご紹介する「酒と泪と男と女／てんびんばかり」です。

後日談になりますが、大学に入学して先輩に連れて行かれたクラブで、初めてピアノ伴奏で歌うことになった時も迷わず「酒と泪と男と女」を選曲。その後社会人になり、1992年にジョイスウンドを立ち上げた時も「酒と泪と男と女」は定番曲として初号機から入曲しましたし、40年以上経った今でも上位にランクインされています。

歌詞の内容も歳を重ねると共にその味わいが深まり、真に聞いてよし、歌ってよしという具合に自分と一緒に人生を歩んでくれる一枚(楽曲)と出会えたことは、本当に幸せなことだと思っています。

Monthly Production Report 2018年2月度レコード生産実績



2月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比99%の1,430万枚・巻、金額で同93%の156億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比98%の1,047万枚・巻、金額で同85%の108億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比101%の384万枚・巻、金額で同118%の48億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	2月実績						2018年1月~2018年2月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	62%	1	0	89%	3	0	29%	2	0	35%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	1	0	62%	1	0	89%	3	0	29%	2	0	35%
12cmCD シングル	邦	4,135	40	123%	3,356	31	119%	7,496	37	115%	6,193	28	120%
	洋	6	0	75%	4	0	74%	8	0	96%	6	0	104%
	計	4,141	40	123%	3,361	31	119%	7,504	37	115%	6,199	28	120%
シングル 計	邦	4,136	40	123%	3,357	31	119%	7,498	37	114%	6,195	28	120%
	洋	6	0	75%	4	0	74%	8	0	95%	6	0	103%
	計	4,142	40	123%	3,362	31	119%	7,506	37	114%	6,201	28	120%
12cmCD アルバム	邦	5,000	48	84%	5,973	55	71%	10,153	51	77%	13,447	60	72%
	洋	1,219	12	105%	1,286	12	109%	2,211	11	95%	2,335	10	102%
	計	6,219	59	87%	7,259	67	76%	12,364	62	80%	15,782	71	75%
CD計	邦	9,136	87	98%	9,330	86	83%	17,651	88	89%	19,642	88	82%
	洋	1,225	12	105%	1,290	12	109%	2,219	11	95%	2,342	11	102%
	計	10,362	99	99%	10,621	98	85%	19,870	99	90%	21,984	99	84%
アナログ ディスク	邦	42	0	62%	76	1	63%	49	0	63%	86	0	63%
	洋	24	0	70%	43	0	68%	48	0	82%	85	0	75%
	計	65	1	64%	119	1	65%	97	0	71%	171	1	69%
カセット テープ	邦	24	0	37%	20	0	38%	78	0	76%	63	0	75%
	洋	0	0	26%	0	0	28%	0	0	36%	0	0	37%
	計	24	0	37%	20	0	38%	78	0	76%	64	0	74%
その他	邦	5	0	49%	9	0	58%	10	0	49%	19	0	62%
	洋	11	0	120%	24	0	143%	30	0	132%	62	0	143%
	計	16	0	83%	33	0	102%	41	0	93%	81	0	109%
合計	邦	9,207	88	97%	9,436	87	83%	17,788	89	89%	19,810	89	82%
	洋	1,260	12	104%	1,358	13	107%	2,298	11	95%	2,490	11	101%
	計	10,467	100	98%	10,794	100	85%	20,086	100	90%	22,300	100	84%

音楽ビデオ

	2月実績						2018年1月~2018年2月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	3,086	80	101%	3,257	67	145%	6,094	78	113%	7,256	65	163%
	洋	28	1	33%	46	1	37%	57	1	49%	84	1	50%
	計	3,114	81	100%	3,302	68	140%	6,152	79	111%	7,340	66	158%
ブルーレイ ディスク	邦	711	19	106%	1,501	31	89%	1,614	21	158%	3,806	34	141%
	洋	12	0	83%	43	1	132%	19	0	73%	58	1	83%
	計	723	19	105%	1,544	32	90%	1,632	21	156%	3,864	34	139%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	洋	3,797	99	102%	4,758	98	121%	7,708	99	120%	11,062	99	154%
	計	40	1	40%	89	2	57%	76	1	53%	142	1	59%
合計	邦	3,837	100	101%	4,847	100	118%	7,784	100	119%	11,204	100	151%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	2月実績						2018年1月~2018年2月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	10,467	73	98%	10,794	69	85%	20,086	72	90%	22,300	67	84%	
音楽ビデオ計	3,837	27	101%	4,847	31	118%	7,784	28	119%	11,204	33	151%	
合計	邦	13,004	91	99%	14,193	91	92%	25,496	91	97%	30,872	92	99%
	洋	1,300	9	99%	1,447	9	102%	2,374	9	93%	2,632	8	98%
	計	14,304	100	99%	15,640	100	93%	27,870	100	96%	33,504	100	99%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	2月実績						2018年1月~2018年2月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	6,089	78	101%	6,267	57	96%	10,945	77	101%	12,922	57	106%
ブルーレイディスク	1,711	22	119%	4,788	43	110%	3,329	23	133%	9,662	43	118%
テープ・その他	0	0	20%	0	0	25%	0	0	66%	0	0	58%
合計	7,800	100	105%	11,055	100	102%	14,274	100	107%	22,584	100	111%

オーディオ/ビデオレコード合計

	2月実績						2018年1月~2018年2月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	10,467	57	98%	10,794	49	85%	20,086	58	90%	22,300	50	84%
ビデオレコード計	7,800	43	105%	11,055	51	102%	14,274	42	107%	22,584	50	111%
合計	18,267	100	101%	21,849	100	93%	34,360	100	96%	44,884	100	96%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

プラチナ	Find The Answer	嵐	2018.02.21	ジェイ・ストーム
	暗闇	STU48	2018.01.31	キングレコード
	Candy Pop	TWICE	2018.02.07	ワーナーミュージック・ジャパン
	マエナムケ	Hey! Say! JUMP	2018.02.14	ジェイ・ストーム
ゴールド	ウルトラプラスト	ST☆RISH	2018.02.14	キングレコード
	ドラえもん	星野 源	2018.02.28	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

アルバム | 邦楽

ダブル・プラチナ	僕たちは、あの日の夜明けを知っている	AKB48	2018.01.24	キングレコード
ゴールド	XYZ=repainting	Sexy Zone	2018.02.14	ポニーキャニオン

ビデオ | 邦楽

ゴールド	LIVE TOUR 2017 MUSIC COLOSSEUM	Kis-My-Ft2	2018.01.31	エイベックス・エンタテインメント
------	--------------------------------	------------	------------	------------------

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

ミリオン	糸	中島 みゆき	2002.04.17	ヤマハミュージックコミュニケーションズ
ダブル・プラチナ	アゲハ蝶	ポルノグラフィティ	2007.11.21	ソニー・ミュージックレーベルズ(SMEレコーズ)
プラチナ	光るなら	Goose house	2014.10.23	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	Raise your flag	MAN WITH A MISSION	2015.10.14	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	EXCITE	三浦 大知	2017.01.18	エイベックス・エンタテインメント
	Lemon	米津玄師	2018.02.12	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
ゴールド	僕たちの未来	家入 レオ	2016.05.11	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	さよならエレジー	菅田 将暉	2018.01.07	ソニー・ミュージックレーベルズ(EPICレコードジャパン)
	TT -Japanese ver.-	TWICE	2017.06.28	ワーナーミュージック・ジャパン
	ASH	LiSA	2017.10.01	ソニー・ミュージックレーベルズ(SACRA MUSIC)

シングルトラック | 洋楽

ゴールド	ステイ	ゼッド	2017.02.23	ユニバーサル ミュージック
------	-----	-----	------------	---------------

アルバム | 邦楽

ゴールド	アンコール	back number	2016.12.28	ユニバーサル ミュージック
	YELLOW DANCER	星野 源	2015.12.09	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

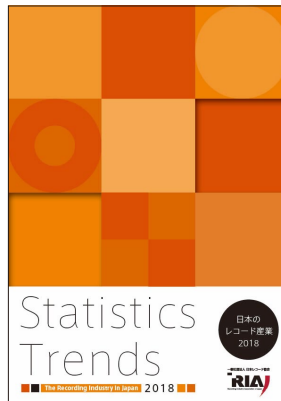
2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

協会からのお知らせ

当協会は、「日本のレコード産業2018」を発行いたしました。本誌は、2017年のレコード産業の概要を網羅したA4版24ページの小冊子で、レコードの生産実績、音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定などの情報を幅広く掲載しています。なお、英語版「RIAJ YEARBOOK 2018」は5月発行予定です。

本誌のPDF版については、当協会ホームページ(<http://www.riaj.or.jp/f/issue/industry/>)をご覧ください。



編集後記

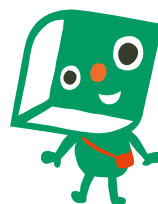
本号が発行される頃にはTOHOシネマズ日比谷がオープンし、活気に包まれていることかと思います。通勤経路内に映画館の選択肢が増えたので、年間50本鑑賞の個人目標を達成するべくアフター6にぜひ訪れたい場所です!ところで、映画にとって音楽は重要な要素のひとつですが、先日「グレイテスト・ショーマン」をドルビーアトモスで鑑賞した際、大迫力の音に包まれて感動しました。一部発売されていましたが今後さらに音楽映像商品が登場するならば、と家庭用システムについて調べると、動画配信サービスで楽しめるドルビーアトモス作品を発見し、さらに興味を惹かれました。しかし音響面を整えるとは画質が…と、ちょっとの好奇心から大規模改革の構想へと至ってしまい、まずはシアタールームレンタルから…と、徐々に現実と向き合う結果となりました。(M)

THE RECORD No.701 2018年4月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2018年4月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<http://www.riaj.or.jp>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンスル



エルマークキャラクター
エルマーくん